

各位

日本農産工業株式会社

## 弊社代表取締役インタビュー掲載に関するお知らせ

この度、サンケイリビング新聞社が発行する「リビング新聞」(3月13日号 田園都市版、3月27日号 横浜版、東京版)に、弊社代表取締役 小山 剛のインタビュー記事が掲載されましたのでお知らせいたします。

本記事は、地域に根ざして活動する企業のトップインタビューを紹介するコラム「話題人登場」にて掲載されたものです。今回は、神奈川県横浜市に本社を構える弊社にお声がけいただき、取材の機会を頂戴いたしました。

インタビューでは、横浜での創業以来、弊社が取り組んできた事業への想いや、小山自身の掲げる理念・ビジョンについてご紹介いただいております。ぜひご覧いただけますと幸いです。

最後に、これまで支えてくださったお客様をはじめ、地域の皆様の温かいご支援とご愛顧に心より御礼申し上げます。

**多彩な顔を持つ横浜のように  
多方面から日本の食を支える**

日本農産工業 代表取締役 小山剛さん

「原材料の輸入に迷った横浜港のそばに拠点を構えて創業95年を迎えます。95年の間には、多様な豊かな国際都市・横浜のように、祖業である畜産飼料から水産飼料、鶏卵、ペットフードなどに事業を広げてきました。さまざまな側面からみなさまの食卓や生活を支える存在になれたのではないかと感じます」と話す小山さん。

消費者の健康と幸せにつながる食品の開発に力を注いできた同社。地域とも連携し、食を通じた幸せの連鎖を築いています。「地元の畜産関連イベントへの協賛のほか、スタッフとして弊社従業員がイベントのお手伝いをさせていただくこともあります。『コグ』が特徴のヨード卵・光や「鮮やかな黄身」の養鶏人、また機能性表示食品の「三ツ星たまご」など、個性のある商品でみなさまに楽しんでいただいているように、私たちの取り組みでみなさまの日常に彩りを添えられたらと思います」

健康な食の供給をサポートするだけでなく、オカラや脱脂粉などの未利用資源を飼料に活用するなど、サステナブルな活動にも創業時から力を入れてきたそう。一世に近く人々の食を支えてきた老舗企業は、人にも動物にも地球にもやさしくありたいと進化を続けています。

プロフィール ● 大学の卒業後、三菱商事に入社。同社では飼料部で輸入業務を担当。その後、乳製品や米部門も経歴。2020年に伊藤ハム米久ホールディングスへの出資を経て、2022年現在は日本農産工業代表取締役就任。神奈川県出身。横浜駅西口のタイヤモト地下街(旧・相模ジョイナス)や横浜田園モアーズ(旧・横浜モアーズ)に青春の思い出が詰まっている。

リビング新聞 2026年3月発行号に掲載

本記事はリビング田園都市・横浜・東京のWeb版でもご覧いただけます。

リビング田園都市 Web: <https://mrs.living.jp/denen/a feature/article/6646094>

リビング横浜 Web: <https://mrs.living.jp/yokohama/a feature/article/6646657>

リビング東京 Web: <https://mrs.living.jp/tokyo/a feature/article/6646657>

以上